

三川町「ゴミ処理受委託問題で市が見解を公表

「受託継続困難」は事実経過に反する 市の主張は「協議済み事項の蒸し返し」

鶴岡市と三川町の「ゴミ処理問題」について、鶴岡市の見解が12日、ホームページに掲載されました。

市は「事務受託は当面の措置」と主張

市の見解では、市町村合併の経過を説明した上で「ゴミ処理と消防について、2市町の協議を経て、町独自で業務を処理する体制が整うまでの間の当面の措置として」受託したと記載しています。

また「三川町が自立を選択したことを前提とした一般廃棄物処理の方針についてこれまでどのように検討してきたか」「鶴岡市が求

める自治体の自立を前提とした一般廃棄物処理の方針を検討することとにふれられていない」と述べるなど、三川町に「合併せずに自立を選択したから」ゴミ処理も自分で考えるべき」との見解を示しています。

市の主張は「協議済み事項の蒸し返し」

三川町の一般廃棄物処理の事務受託は、協定書を交わした平成19年の時点で議論し尽くした問題であり、期限についても設けないと結論づけました。

当時の市議会での市長答弁や協定書の中に、「当面の措置」と

か「期限付き」という文言はありません。当時、ゴミ処理の一部事務組合の解散には三川町議会の議決が必要でした。

新しい処理施設の建設に合併特例債を使うということを理由に、

鶴岡市が事務組合解散の議決を三川町に要請し、受委託が「期限なし」だったからこそ解散が成立しました。今になって鶴岡市が「当面の措置」だったと言って、三川町との協議も合意も無く、「事務受託の継続は困難」とすることは事実経過に反します。

鶴岡市が求めていることは、既に協議済み

のことを蒸し返している

風力発電、林業・住宅産業の振興

▽11日、三瀬から山五十川にかけての山間部に計画されている風力発電事業の説明会に出席。再生可能エネルギーの推進は、極めて重要な課題ですが、地域振興につながり、環境と調和するものであることが必要です。地元の大きな期待にこたえることはもちろんですが、希少動植物の生息や、ラムサール登録の上池・下池の渡り鳥飛行ルートの可能性があることなどから、環境面での課題の慎重な検討が求められます。

▽12日、朝日中学校竣工式・祝賀会に出席。鶴岡市最大の木造公共

建築として、地域経済振興に大きな効果が上がりました。市の施策を高く評価するとともに、関係者の方々の努力に敬意を表します。

故郷の木の力が溢れる素晴らしい校舎が、子どもたちの感性を豊かにしてくれることを期待します。

▽14日、田川建設労働組合大工部会総会・懇親会に出席。「地場産材・地元業者による住宅建設施策の推進と、アベノミクスの一刻も早い終結を」の挨拶をおこなったところ、懇親会で多くの皆さんから「その通りだ!」と大歓迎されました。(眞議 関 徹)



新しい焼却炉の建設が計画されている鶴岡市クリーンセンター

るだけです。国は広域処理を推進、県内に単独処理なし

「ゴミ処理の新たな問題として、焼却炉の建て替えや最終処分場の建設があります。両施設で百数十億円の費用がかかると言われて

市の見解では、「こ

うした施設整備に要する経費が極めて多額に上り、市民の負担も大きいことから……「ゴミの受け入れについては慎重に対応したい」と述べています。国は、ダイオキシン対策やコスト削減を理由に広域処理を推進しており、全国の市町村の97%が一部事務組合や受委託による共同処理を行っています。県内でもゴミ焼却施設は8処理区で運営され、市町村単独はありません。

「ゴミ処理はそもそも広域処理すべきで、小規模町村に「自ら行う

もの」と求めることに道理はありません。三川町も自分の負担を表明しており、鶴岡市としては歓迎すべきことです。

これら新施設整備の問題や費用負担等の問題は、両市町間で協議すべきです。

「三川町が依存」は歪んだとらえ方

見解では、「委託」という形で依存し続け8年以上が経過している中、……『自立した自治体として』……三川町当局の基本姿勢を問いかける」としていますが、三川町が「依存」しているとの見方は、ゴミ処理の受委託という自治体間の関係を歪めたとらえ方です。住民が2度の町長選挙で自立の道を選び、合併から離脱したものであり、最大限尊重されるべきです。

自治体の自立と自治体間の協力共同とは矛盾しません。

「鶴岡農業の方向性」で意見交換

市農業委主催「農業者等との意見交換会」開催

鶴岡市農業委員会

(三浦伸一会長)主催の農業者等との意見交換会が9日開かれ、市農業委員と、佐藤農林水産部長をはじめとした担当職員、市認定農業者会役員、鶴岡市農協・庄内たがわ農協の青年部・女性部役員や、市議会から産業建設常任委員が参加しま

した。

第一部では山形大学農学部金成学(キム・ソンガク)教授が「国際時代における日本農業」をテーマとして講演し、第二部では「鶴岡農業の今後の方向性」をテーマに3つの課題で意見交換が行われました。



講演を行う山形大学の金教授

農産物輸出の可能性」では、「個人では取り組めない。農協組織などの支援体制が必要」「海外からの観光客への働きかけも大切」などの意見が出されました。

②地元農産物の利用拡大」では、特に学校給食について「作りの多い作物は、注文数量が少ないなど課題がある」「献立が3ヶ月前に決まり、出荷時期の調整が困難」などの課題が示される一方、市の武田農政課長は「市として、玉ねぎ栽培プロジェクトを検討しており、乾燥・貯蔵などの課題を研究したい」と述べました。

③担い手対策」については、温海や朝日では中山間地域の農業委員から中山間地域での農業維持の現状と課題が報告された他、「共同乾燥施設の再編計画の際は飼料



の再編計画の際は飼料

神楽・太鼓で竣工祝う

朝日中学校校竣工式・祝賀会

12日、鶴岡市立朝日中学校(尾崎稔校長)の竣工式・祝賀会が開催されました。

同校は老朽化に伴い、朝日村時代から改築の検討を行ってきたが市町村合併により少し遅れた改築となりました。

校舎は木造2階建(一部鉄骨使用)で木

用米施設の整備をしてほしい」「中山間地直接支払を充実させてゆくことが大切」などの意見が出されました。

生徒は今年度から新校舎で学んでいきます。昨年11月にグラウンドも完成し全工事が終了しました。

竣工式には、生徒・教職員・地域の関係者など260人が参加。式辞・来賓あいさつ等の後、生徒全員の校歌合唱が行われました。

竣工祝賀会は、明日に掛ける橋実行委員会(難波金一会長)の主催で行われ、「越中山神楽(写真)」「朝日祥雲御山太鼓」などで完成を祝いました。

関徹県議、加藤太一市議が来賓として出席しました。

「安倍首相は歴代首相と比べて最悪」

田川革新懇が孫崎亨氏迎え講演会と総会開催

(第一部)8日、勤労者会館で第13回総会を開催、「日本共産党の『国民連合政府構想』を支持し、革新懇の『三の共同目標』に基づく

歴代首相と比べ最悪」と断罪。

「アベノミックス」は「大企業の内部留保が史上最高」だが「経済成長マイナス」「日銀金利マイナス」「勤労者の実質賃金マイナス」で「暮らしへの経済的成果が全くない」。

(第二部)2時から元外務省情報局長・孫崎亨さんの講演。

演題「戦争とテロ/世界と日本」をばら撒く安倍外交を問う」と盛り沢山の内容。孫崎さんは「安倍首相は尖閣諸島や北方領土

第2次世界大戦で闘ったドイツとフランスは、EUで共同行動をとるリーダーシップを発揮している「現実と比較し、安倍首相の中心で中身がない」と。

尖閣諸島や北方領土

ネット情報で参加された方もいました。183名が参加。(酒田21名)

(第三部)4時半「講師を囲んで鱈汁会」きぶんや」のオリジナル「鱈子お握り」に「オ！旨い！」。講師は質問攻めで食べる暇なし。(41名)

(笹山一夫)

東部建設事務室入札結果 () 内は予定価格

2月10日入札分
・池苗代3号線道路改良工事(債務負担行為)(添川地内) 板垣建設(有) 2,780,000円(3,349,000円) 工期~6/30(落札率83.0%)

土木課入札結果 () 内は予定価格

2月10日入札分
・播磨中京田線道路改良工事(債務負担行為)(中京田地内) 丸栄工務(有) 1,550,000円(1,800,000円) 工期~5/27(落札率86.1%)
・青龍寺中橋線表層改良工事(債務負担行為)(青龍寺地内) 笠原建設工業(株) 4,100,000円(4,275,000円) 工期~5/27(落札率95.9%)

